

全日食チェーン四国協同組合

「地域の強い味方 ～未来の地方を支えるインフラ～」

当組合は前身である地元のボランティアチェーンが全日食チェーンに移行するに伴い、昭和60年に設立されました。我が全日食チェーンには設立当初より変わらない信条があります。それは、「感謝」「品質・価格」「経営革新」「協調と信頼とシステム化」です。これを軸に、地域になくてはならないインフラとして、これからも独自のボランティアチェーンの推進と発展を目指しながら、地域利用者のために加盟店・組合・本部が一体となって努力を続けていきます。

1. 組合等設立の背景と沿革について

当組合の前身は徳島の地場卸が主催するボランティアチェーン（四国フードチェーン）でした。前身組合が崩壊危機に直面し生き残りを模索する中で、昭和52年に全日食チェーンとの合体を行い四国本部として稼働、これをきっかけに全日食チェーンは全国展開へと進むことになりました。その後、昭和60年10月24日に当組合が設立され組合としての事業を開始いたしました。組合の沿革は以下のとおりです。

【組合の沿革】

平成 4年	3月	全日食チェーン四国ジュニアボード四国会議（青年部）発足
平成 6年	4月	徳島市東沖洲へ組合事務所移転
平成15年	3月	組合独自の情報システムを全組合員で活用開始
平成22年	4月	生鮮加工センターの稼働開始
平成27年	5月	創立30周年式典
平成29年	5月	徳島創業40周年記念式典

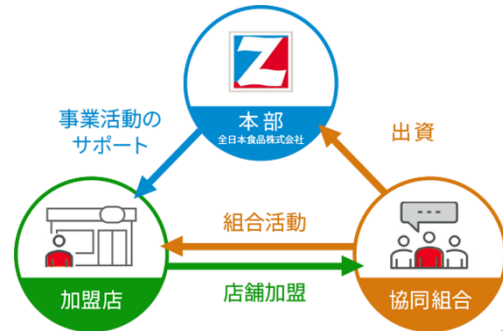


《ボランティアチェーンとは?》

多数の独立した小売事業者が連携・組織化し、商標使用・仕入れ・物流などを共同して行う形態のこと。仕入れ先との取引が大口化、仕入れ単価の引き下げ、大手スーパーとの価格差の是正等のメリットがあります。

全日食チェーンは地域のミニスーパーや個人商店の経営者からなるボランティアチェーンです。

①加盟店②協同組合③全日本食品株式会社の三者が協力し合って地域商業の発展に貢献しています。



2. 共同事業の実施体制（役割分担）と取組について

(1) 実施体制

- ・オーナー会・・・平成19年より地区別に分けた組合員の集会として、それぞれ月に一度開催して地域別の情報提供や意見交換会を開催しています。現在は、7つ（徳島3つ、淡路、香川、愛媛、高知）のオーナー会に分かれています。
- ・委員会・・・理事会だけでなく、組合運営の諮問機関として開発委員会を定期的に開催しています。未組織化の中小小売店の情報交換や候補点を抽出して、新規店の開発に繋げています。

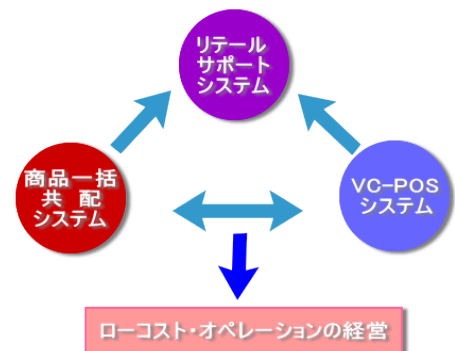
(2) 共同事業等の取り組み内容

①共同購買・共同受注・共同保管・共同運送、各種食料の共同加工

- ・全日食チェーンのスケールメリットを活かした各種共同作業、生鮮加工センターを利用した各種食料共同加工

②ITシステム開発・導入

- ・コンピューター・ポイント・オブ・セールスシステム（POSシステム）を駆使した受発注や在庫管理を徹底。さらに、顧客別の販促システムであるZFSP（全日食フリークエント・ショッパーズ・プログラム）を完成させ、お客様のライフスタイルに応じた商品提案を実施。
- ・コロナ渦中においても、全組合員が教育情報事業を受けられるオンラインシステムの構築



③ジュニアボード（JB）の活動

- ・次世代を担う若手経営者を育成する定期的な意見交換会や講習会
（今では組合運営に卒業生が参加）

④諸会議

- ・各店舗間や本部からの重要情報伝達を行う地域ごとのオーナー会議
- ・未組織化の中小小売店情報交換や新規店開発につながる開発委員会
- ・全日本食品株式会社と各ブロックの協同組合（全日食チェーン商業協同組合連合会）
が一堂に会する全日食躍進チェーン大会
- ・全組合員が一同に会し、今後の事業展開を話し合う総会、新年会

⑤研修、講習会

- ・経営とサービス向上を目的とする食品表示や HACCP の研修、接客・総菜・鮮魚といった各種講習会



3. 地域貢献・社会貢献について

①人口過疎地域への出店

いわゆる買い物難民と言われるお客様に対し、本部直営型店舗を展開するなどニーズに合わせた店舗作りを実践するとともに、電話・ファックスによる宅配サービスも実施しています。

②地産地消と環境への配慮

青果物・水産物は徳島中央市場を拠点として四国島内及び県内産の食材を提供している他、平成22年に稼働した生鮮加工センターでは当初、徳島の畜産業者に精肉部門を委託（現在は支社直営）し商品供給することにより地産地消に寄与しています。また上述の生鮮加工センター稼働により、買い出しの軽減や生鮮食料の少量供給が可能となり、

物流コスト削減や環境負荷の軽減が図られています。

③地域特有の料理、行事食の情報共有

平成19年から自店における総菜の売れ筋商品を紹介したり、レシピを共有化したり、その土地独自の食文化や季節イベントに合わせた総菜を提供しています。地域の人にとって馴染み深い料理を提供できるのはもちろん、馴染みのない若い世代や他地域の人にも地域文化を知ってもらえる機会となります。

④被災地支援

東日本大震災、西日本豪雨など被災地への募金活動を行いました。また、熊本大地震においては、全日食チェーンの物流・商品の知見を活かし、九州全日食チェーン加盟店へ水や物資の迅速な輸送で援助活動を行いました。

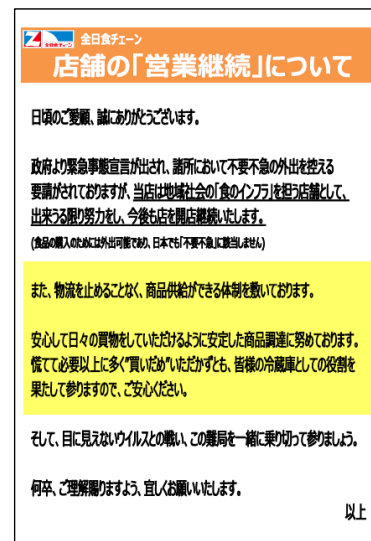
4. 組合設立・組織化の効果・メリットについて

当組合は、平成6年8月に地域食品産業高度化施設整備事業、地域需給改善促進施設事業を実施して、従来分散していた物流施設を集約し共同物流センターを現在の沖洲団地に構えました。これにより、各組合員の品揃えが充実し食料品の全品供給体制を整えることができました。また、平成22年4月からは競合他社との差別化を図るため、スーパーマーケットの販売商品の中心である生鮮品（肉・魚・野菜）の改革とし、物流センターに共同加工センターを併設しました。時代とともに移り変わる消費者ニーズに応えるため、商品開発と組合員店舗への供給充実を実施してきました。組合としてのメリットを最大限に活かすことにより、各店舗の仕入れ等にかかる時間とコストの軽減を実現でき組合員へのメリットも最大限引き出すことができています。

5. 今後の方向性について

コロナ禍において、当組合員一同は「食のインフラ」であるということを念頭に、全国で緊急事態宣言が出された際にも各店舗で感染症対策を行いつつ「営業継続」を努めました。これまで通りのサービス提供だけでなく、新しい生活様式に沿った工夫を今後も継続していく予定です。

また、組合設立当初から変わらない信条に基づき、地域になくしてはならないインフラとしてより充実したサービス提供ができるよう組合員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。



全日食チェーン
店舗の「営業継続」について

日頃のご愛顧、誠にありがとうございます。

政府の緊急事態宣言が出され、諸所において不要不急の外出を控える要請がされておりますが、当店は地域社会の「食のインフラ」を担う店舗として、出来る限り努力をし、今後も店を閉店継続いたします。
(商品の購入のためには外出可能なため、日本でも「不要不急」に該当しません)

また、物流を止めることなく、商品供給ができる体制を整えています。

安心して日々の買物をいただけるように安定した商品調達に努めております。慌てて必要以上に多く買いだめいただくことも、皆様様の冷蔵庫としての役割を果たして参りますので、ご安心ください。

そして、目に見えないウイルスとの戦い、この難局を一掃に乗り切って参ります。

何卒、ご理解賜りますようお願いいたします。

以上

《組合員の事例紹介》

徳島県西部、JR 大歩危駅を下車してすぐのところにある「歩危マート」は、創業当初から地域のスーパーとして愛されています。駅を中心に 20~30 軒の家が建ち並ぶ集落にあり、近年では、外国人観光客が祖谷のかずら橋を訪れる際に必ずといっていいほど立ち寄るお店です。こちらの店舗でしか売っていない「ぼけあげ」という油揚げが名物であり、これを求めて遠方から足を運ぶ方もいるほどです。また、祖谷の郷土料理である「でこまわし」に使われるこんにゃく、豆腐といった加工品や地元で採れた新鮮な野菜は、地域の方から仕入れています。地産地消はもちろんのこと、観光客へも地域の食文化を伝えるお店として地域になくってはならない存在です。実際にお店に足を運べない人へも HP を利用して、ぼけあげのレシピを動画等で紹介しています。



《全日食チェーン四国協同組合 信条》

当組合倉庫内には創立当初から変わらない4つの信条を掲示しており、日々意識しながら活動を行っています。

【感謝】

毎日の感謝と奉仕の精神、それが繁栄への道である。

お客様に、お店に、仕入れ先に両親に、社会に、国家に。

【品質・価格】

品質と価格に責任を持つ、それがお客様の信頼に応える道である。

【経営革新】

常に経営に対する新しい感覚を養う、それが明日を開く道である。

【協調と信頼とシステム化】

ボランティアチェーンの推進と発展、それが理想現実への道である。



〈組合概要〉

・主たる業種：小売業 ・組合専従者数：1名 ・組合員数：51名

・組合員の資格

(1) 各種食料品小売業を行う事業者であって、全日本食品株式会社と取引を有していること。

(2) 本組合の地区内に事業場を有すること。

・設立年月日：昭和60年10月24日

・設立後の経過年数：36年

・出資金：102万円

・理事長：山下 浩司（やました ひろし）

・住所：徳島市東沖洲2丁目34番

・URL：<http://zchain-shikoku.jp/>

・電話番号：088-664-7111

・FAX番号：088-664-7110